

2012年(平成24年)10月2日<火曜日>

(3)

無人飛行探査 機見学会開く

建設機械施工協中部

日本建設機械施工協会中部支部(小川敏夫支部長)は9月26日、長久手市の愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で、会員企業など約30人が参加して「無人飛行探査機見学会」を開催した。

キャリア技研(本社名古屋市中村区、富田茂社長)の協力を得て、最新



富田社長が仕組みを説明

の各種無線操縦式無人電動飛行探査機をデモ飛行させた。同機は、GPS制御で、土砂崩れなど災害時や放射能汚染などの

人が立ち入れない被災地探査を遠隔操作で安全な情報収集ができる。また、高所の橋梁やビル壁面の保守点検、工事現場を上空から撮影し、施工管理なども可能。搭載カメラは3Dフルハイビジョンで、動画撮影による地上での実況確認もできる。富田社長は「今後、橋梁、ビル壁面の点検、法面の修復状況など、建設分野での活用が期待できる」と話す。